

# めざすべき都市の姿を実現するため、「集約連携

## めざすべき都市構造

「めざすべき都市の姿」の実現のためには、「まちづくりの方針」に沿って様々なまちづくりをすすめていくとともに、それらの取り組みが相乗効果を生み出す都市構造を実現していく必要があります。

### 都市構造を考える上での視点

安心・安全な暮らしを支える都市構造

交流社会をリードする都市構造

地球環境問題に対応した都市構造

都市の効率的な維持管理に資する都市構造

公共交通が利用しやすいなど人と地球にやさしく、人・もの・情報の交流にあわせて創造的活動が活発になるとともに、防災性の向上や都市基盤等の効率的な維持管理に寄与する「**集約連携型都市構造**」の実現をめざします。



< 駅そ



## 実現に向けた取り組みの方針

1 本市の人口増加が2025年頃まで続くことを前提に、特に駅そば生活圏における居住人口の増加をはかるとともに、市内外の交流人口の増加をはかる駅そばまちづくりをすすめます。

駅そば生活圏において、「都市機能の更なる強化」と「居住機能の充実」をはかります。

都市機能の更なる強化と居住機能の充実を効率的・効果的にすすめるために、駅そば生活圏等に拠点を設定します。

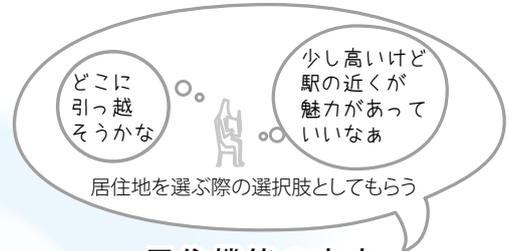


地域全体の価値の向上

### 都市機能の更なる強化

生活利便施設等の充実

商業・業務・サービス・文化施設等の集積



どこに引っ越そうかな

少し高いけど駅の近くが魅力があっていいなあ

居住地を選ぶ際の選択肢としてもらう

### 居住機能の充実

優れた景観の形成や個性的な魅力空間の形成

2 大規模な災害にそなえ、防災性の高い都市構造の構築をすすめます。将来的な人口減少により懸念される空地・空家の増加などと、それに伴う地域環境の悪化や都市経営の非効率化に対し、適切な対応策の検討をすすめます。

# 型都市構造」をめざします。

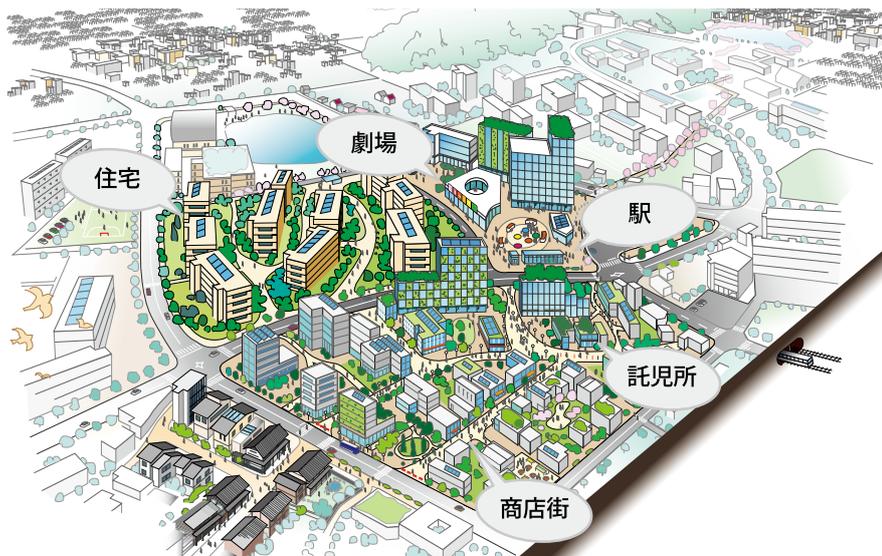


## 集約連携型の都市構造ってなに？

駅を中心とした歩いて暮らせる圏域（駅そば）に、商業・業務・住宅・サービス・文化等の多様な都市機能が適切に配置・連携されていて、さらに景観・歴史・環境や防災に配慮された、魅力的で安全な空間づくりがなされている都市構造のことだよ。

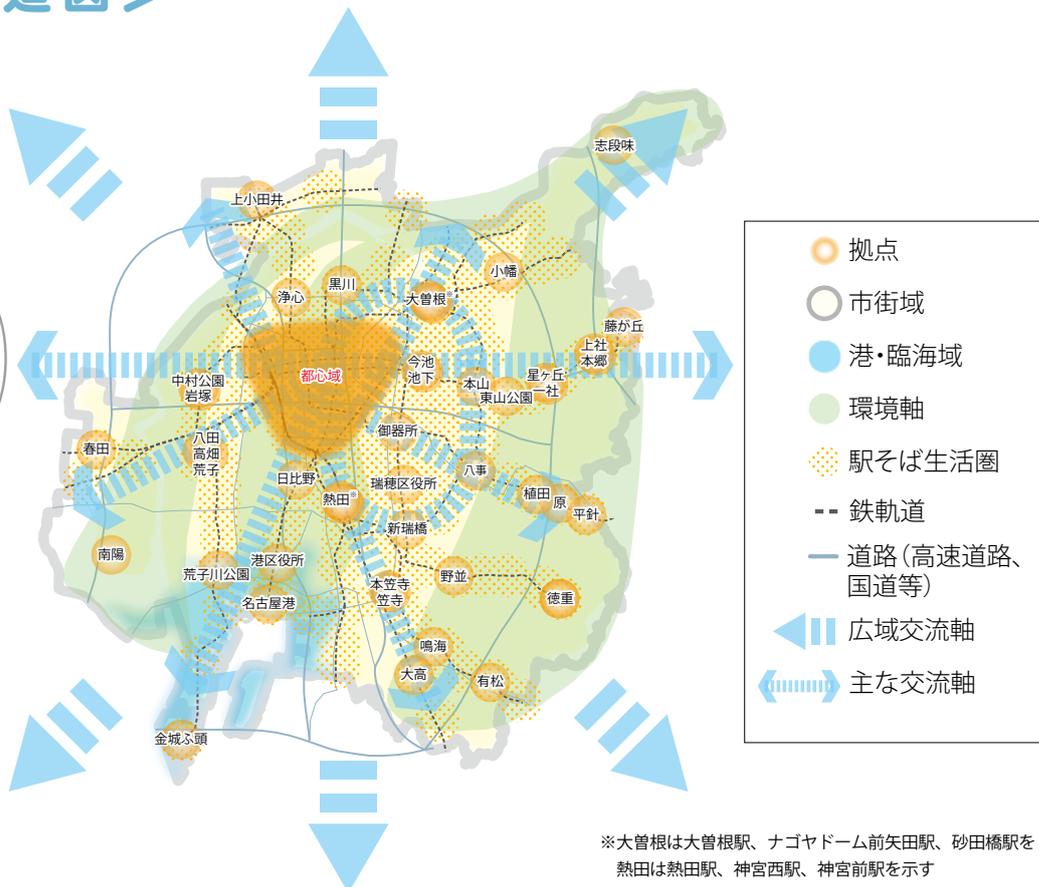


## イメージ



## 将来都市構造図

駅から概ね半径800mの圏域に、地下鉄の環状線で囲まれる部分を含めて、「駅そば生活圏」としているんだよ。



※大曽根は大曽根駅、ナゴヤドーム前矢田駅、砂田橋駅を  
熱田は熱田駅、神宮西駅、神宮前駅を示す



まちづくりの方針に沿った、各分野（「土地利用」「交通」「港湾・空港」「緑・水」「住宅・住環境」「防災」「景観・歴史」「低炭素・エネルギー」「供給処理施設等」）の方針と施策の方向性<sup>\*</sup>について示します。<sup>\*</sup>概要版では方針のみ抜粋しております。

## ● 土地利用

- 名古屋大都市圏の中核都市として、また国内外との広域交流都市として都心機能の強化をはかります。
- 集約連携型都市構造の実現に向け、鉄道駅等を中心に多様な都市機能の集積をはかるなど、持続的な都市活動を支える土地利用の誘導をすすめます。
- めざすべき土地利用に向けて、現状の土地利用や防災性に配慮しつつ、商業・業務、住居、工業・物流などの都市機能の適切な誘導をはかるとともに、地区計画等の活用により、地域の特性に応じたきめ細かな土地利用の誘導につとめます。



地区計画の活用事例(高見二丁目地区)

## ● 交 通

- 集約連携型都市構造の実現に向け、安心・安全・便利に移動できる交通サービスにより、環境にやさしい移動手段が選択される交通体系の形成をはかります。
- 地域間連携や交流機能を高める交通基盤の整備を推進します。
- 豊かな道路基盤を有効に活用し、道路空間の再配分などにより、歩行者などが安全・快適に利用でき、まちの魅力・にぎわいや個性を高める空間として再生します。



道路空間の利活用(久屋大通)

## ● 港湾・空港

- 中部圏・名古屋大都市圏の産業・経済・暮らしを支える国際産業ハブ港として、利用しやすく質の高いサービスを提供し、安全で信頼される港づくりをすすめます。
- 多くの人々が訪れ、交流するウォーターフロントとして、魅力ある親しまれる港づくりをすすめます。
- 国内外と中部を結ぶ玄関となる中部国際空港の機能強化や需要拡大をすすめます。



金城ふ頭

## ● 緑・水

- 公園・緑地の整備・運営、緑の保全・創出や水辺空間の整備により、身近に自然が感じられる環境づくりをすすめます。
- 緑と水の回廊による生物多様性の保全や健全な水循環の回復、風の道づくりにより、人や生きものにとって快適な環境づくりをすすめます。



東山公園周辺



## ●住宅・住環境

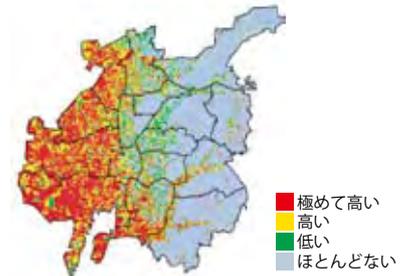
- 駅そば居住を促進しつつ、様々な居住ニーズに対応できる多様な住宅・住環境づくりをすすめます。
- 災害や交通に対する安全性を高めるとともに、住宅セーフティネットの充実や良好なコミュニティ形成の支援をすすめ、安全で安心して住み続けることができる住宅・住環境づくりをすすめます。
- みどり豊かで持続性の高い住宅地づくりと環境に配慮した住宅の供給・改善をすすめ、地球環境にやさしく、長く住み継がれる住宅・住宅地づくりをすすめます。



駅そばの共同住宅

## ●防 災

- 地震に伴う建物倒壊や市街地大火の予防・減災のため、避難地・避難路の整備や建物の耐震化、木造住宅密集地域の改善など、都市レベル・地区レベルでの都市の構造的な防災対策をすすめます。
- 水害の危険性から都市を守るため、河川・下水道の整備などにより、雨に強いまちづくりをすすめます。
- 災害や防災対策に関する様々な情報の提供とともに、発災後いち早く復旧・復興できる体制づくりに向けた意識醸成をすすめることで、地域の防災力の向上をはかります。
- 平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、今後、見直しがすすめられる東海・東南海・南海地震による被害想定などをもとに、防災対策の強化をはかります。



東海・東南海地震連動時の想定液状化危険度図  
(平成15年度東海地震等震度分布予測調査)

## ●景観・歴史

- 地域の個性や特色を生かし、市民が誇りと愛着を持てる魅力ある景観づくりをすすめます。
- 良好な景観の形成に向けた施策の充実とともに、名古屋の顔・シンボルとなる地区における風格と魅力ある景観づくりや、地域における景観まちづくりへの支援をすすめます。
- 名古屋の歴史的骨格を見える化するとともに、まちづくり資産の活用と身近な歴史に親しむ界隈づくりなどにより、「地域力」で歴史まちづくりをすすめます。



名古屋駅周辺の建物群と名古屋城

## ●低炭素・エネルギー

- 低炭素なまちづくりに向けたさまざまな施策を総合的に展開する低炭素地区を形成し、低炭素で快適な駅そば生活圏の創生をめざします。
- 環境にやさしい移動手段が選択される交通体系を形成し、交通移動にかかるエネルギー消費の削減をはかります。
- 建物のエネルギー負荷の削減、エネルギーの効率的な利用や安定供給と未利用・自然エネルギーの活用等により、低エネルギーで快適な都市をめざします。
- 公園・緑地の整備や緑化の推進などの取り組みにより、都心部を中心とする市街地の気温上昇を抑制することで、ヒートアイランドの緩和をはかります。



太陽光発電(鍋屋上野浄水場)

## ●供給処理施設等

- 円滑な都市活動を支え、都市生活の利便性の向上や良好な都市環境の確保等をはかるため、下水道やごみ焼却場、市場、斎場等の都市施設の整備や維持管理につとめます。



露橋水処理センター(建設中)